

報告 日本の大学・短期大学・高等専門学校における 体育系教員のプロフィール：アンケート調査の報告

著者	図子 美和, 中川 昭, 白木 仁, 高木 英樹, 鍋倉 賢治, 木内 敦詞
雑誌名	大学体育研究
号	38
ページ	37-42
発行年	2016-03
その他のタイトル	Reports Profile of physical education teachers in university , junior college and College of TechnoJogy in Japan : Report of qluestionnaire survey
URL	http://hdl.handle.net/2241/00138891

日本の大学・短期大学・高等専門学校における 体育系教員のプロフィール —アンケート調査の報告—

図子美和¹⁾, 中川 昭¹⁾, 白木 仁¹⁾, 高木英樹¹⁾, 鍋倉賢治¹⁾, 木内敦詞¹⁾

1. はじめに

筑波大学は、大学体育や大学スポーツの充実・発展へ寄与する実践研究と、それに基づく教育実践の循環を促進できる高度専門職業人としての大学教員（高等専門学校を含む）の養成を目的とする大学体育スポーツ高度化共同専攻を、鹿屋体育大学と共同で平成 28 年度から開設する。この専攻の準備機関である高度大学体育スポーツ指導者養成共同学位プログラム運営委員会では、現在の大学体育に携わる教員に関する現状や意見等を新専攻開設の参考とするために、日本国内における大学・高等専門学校に在職する体育系の教員の学位の取得状況や実践的研究及び大学体育に関するアンケート調査を行った。

今回はこのアンケート調査の中から、体育系教員のプロフィールに関する集計結果を報告する。

2. 調査方法

運営委員会が作成したアンケート冊子（資料 1：プロフィールの部分のみ掲載）を使用し、以下の条件に該当する日本国内の各大学・高等専門学校のホームページに記載されている、体育系に在職する教員および、教養課程で体育授業を担当する教員を対象にアンケートを行った。

調査方法の詳細は以下の通りである。

(1) 調査期間：平成 26 年 5 月 30 日～9 月 8 日

(2) 対 象：①国公立大学（筑波大学、鹿屋体育大学は除く）

②国公立高等専門学校

③体育系私立大学

④入学定員 1000 名以上の私立大学（短大含む）

上記①～④に在職する体育系教員

内 訳：①国公立大学 693 人

②国公立高等専門学校 144 人

③・④私立大学 1407 人

合計 2244 人

(3) 方 法：アンケート冊子を個人宛に郵送し、記入後に同封の封筒で返送

(4) 実施結果：アンケート送付数 2244 通

アンケート送付実数 2229 通（異動等により 15 通返却）

アンケート回答数 670 通

回収率 30.1%

3. 調査結果

解答のあった 670 人のうち以下の項目についてまとめた。

(1) 年齢構成

年齢は 50 歳から 54 歳が一番多く 126 人で全体の 18.8% 占めている。次いで 60 歳以上

1) 筑波大学体育系、高度大学体育スポーツ指導者養成共同学位プログラム運営委員（平成 26 年度）

が100人で14.9%、45歳から49歳が93人で13.9%、40歳から44歳が83人で12.4%、35歳から39歳が77人で11.5%、55歳から59歳が76人で11.3%、30歳から34歳が62人で9.3%、30歳未満が34人で5.1%であった。（表1、図1）

(2) 性別
性別は男性568人で84.8%、女性99人で14.8%であった。（表2、図2）

(3) 所属
大学に所属しているのは612人で91.3%、短期大学は3人で0.4%、高等専門学校は49人で7.3%であった。（表3、図3）

アンケート用紙 プロフィール記入欄 資料 1

※プロフィールについてお伺いします。適宜記入あるいは該当するものに○をつけて下さい。

年齢	歳		性別	1. 男 2. 女
所属	1. 大学 2. 短期大学 3. 高等専門学校 4. その他 ()			
最終学歴	1. 大学卒 (体育系・その他) 2. 修士課程修了 (体育系・その他) 3. 博士課程修了 (体育系・その他)			
専門分野	教育	1. 教養体育担当 2. 専門体育担当 3. その他 (1、2の両方をご担当の場合は比重の大きい方をお選びください)		
	研究	1. 人文・社会学系 2. 自然・医科学系 3. 統合・実践科学系 具体的な専門研究領域: _____		
職階	1. 教授 2. 准教授 3. 講師 4. 助教 5. 助手 6. 研究員等 7. その他 ()			
学位	1. 博士 () 2. 修士 () 3. 学士 () 4. その他 ()			

ご協力誠にありがとうございました。

表1 年齢構成

年 齢	人数	%
～29歳	34	5.1
30～34歳	62	9.3
35～39歳	77	11.5
40～44歳	83	12.4
45～49歳	93	13.9
50～54歳	126	18.8
55～59歳	76	11.3
60歳～	100	14.9
無回答	19	2.8
合 計	670	100.0

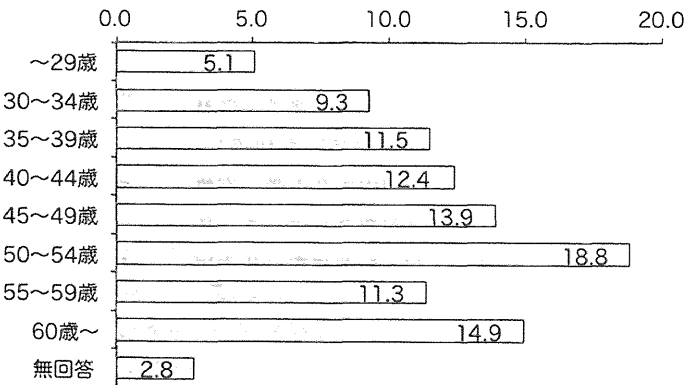


図1 年齢構成 (%)

(4) 最終学歴

最終学歴は大学卒業が76人で11.3%，修士課程修了が340人で50.7%，博士課程修了が249人で37.2%であった。（表4、図4）

(5) 職階

職階は教授が一番多く301人で44.9%，准教授が203人で30.6%，講師が72人で10.7%，助教が63人で9.4%，助手が16人で2.4%であった。（表5、図5）

表2 性別

性 別	人数	%
男	568	84.8
女	99	14.8
無回答	3	0.4
合 計	670	100.0

(6) 学位

取得している学位は博士が一番多く316人で47.2%，修士は291人で43.4%，学士は51人で7.6%であった。（表6、図6）

(7) 学位の種類（複数回答）

学位（博士）の種類は延308回答中，医学博士が77人で一番多く，次いで体育科学博士51人，学術博士38人，教育学博士18人，体育学博士14人，また，種類が無記名で博士のみ記載があったものは36人であり，体育関連以外

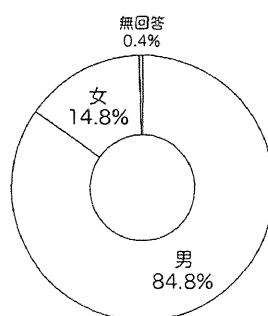


図2 性別

表3 所属

所 属	人数	%
大 学	612	91.3
短 大	3	0.4
高 専	49	7.3
その他	3	0.4
無回答	3	0.4
合 計	670	100.0

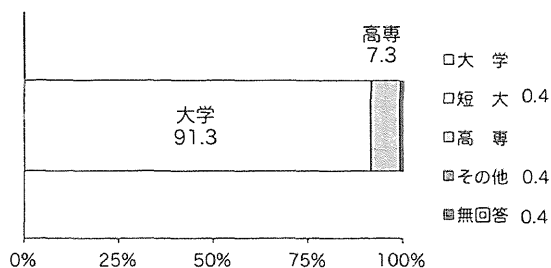


図3 所属

表4 最終学歴

最終学歴	人数	%
大学卒業	76	11.3
修士課程修了	340	50.7
博士課程修了	249	37.2
無回答	5	0.75
合 計	670	100.0

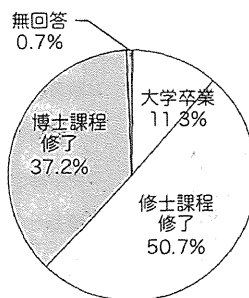


図4 最終学歴

の博士が69人であった。(表7, 図7)

学位(修士)の種類は延328回答中, 体育学修士が138人で一番多く, 次いで教育学修士が62人, 残りは体育修士と学術修士それぞれ7人, 種類が無記名で博士のみ記載があったものは72人であり, 体育関連以外の修士が42人であった。(表8, 図8)

表5 職階

職 階	人数	%
教 授	301	44.9
准教授	205	30.6
講 師	72	10.7
助 教	63	9.4
助 手	16	2.39
その他	8	1.19
無回答	5	0.75
合計	670	100.0

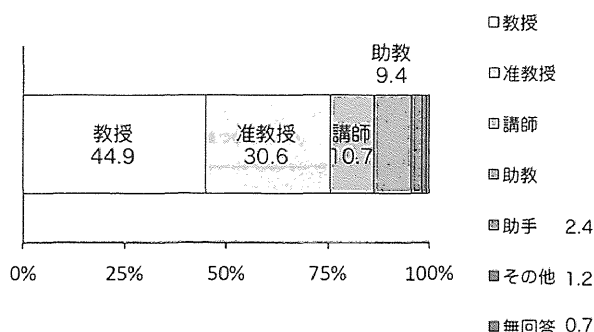


図5 職階

表6 学位

学 位	人数	%
博 士	316	47.2
修 士	291	43.4
学 士	51	7.61
無回答	12	1.79
合 計	670	100.0

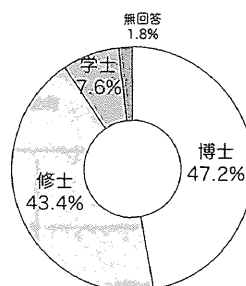


図6 学位

表7 学位の種類(博士)

種 類	人数
体育学博士	14
体育科学博士	51
学術博士	38
教育学博士	18
人間科学博士	5
医学博士	77
博 士	36
その他	69
合 計	308

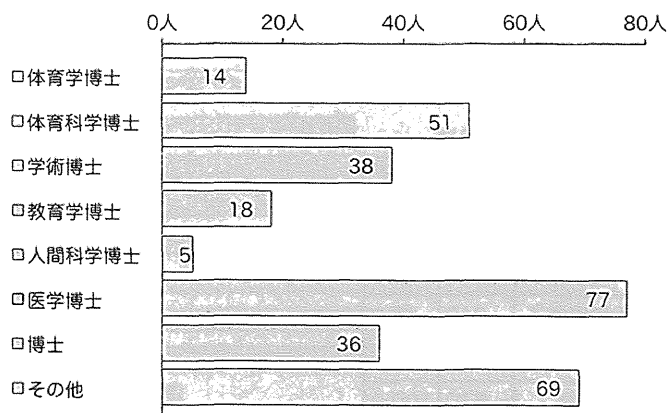


図7 学位(博士)の種類

(8) 教育および研究での専門分野（複数回答）

体育の専門課程で授業を担当しているのは延 686 回答中 328 人、教養体育を担当しているのは 261 人であった。（表 10、図 10）

研究分野については、自然・医科学系が 240 人、人文・社会科学系が 201 人、総合・実践科学系が 192 人であった。（表 11、図 11）

また、具体的な研究専門領域は延 352 回答中、コーチング学系が 42 人、次いで運動生理学が

36 人、体育科教育が 32 人、バイオメカニクスが 28 人、スポーツ心理学が 26 人、その後は歴史系、運動学、方法学、医療・医科学系の順であった。（表 12、図 12）

4. 終わりに

調査した当初、アンケートの結果は新専攻の開設準備に利用する目的のためだけに実施された。しかし近年、全国的に体育系教員のプロ

表 8 学位の種類（修士）

種 類	人数
体育学修士	138
体育修士	7
学術修士	7
教育学修士	62
修 士	72
その他	42
合 計	328

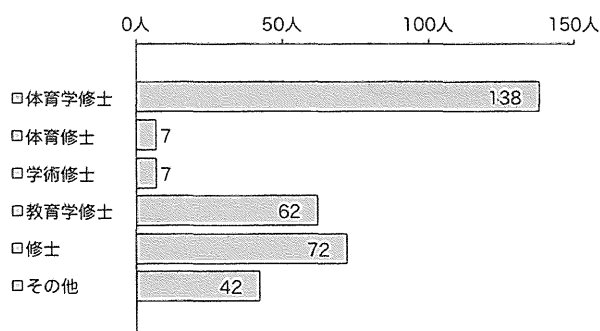


図 8 学位（修士）の種類

表 9 学位の種類（学士）

種 類	人数
体育学学士	16
体育学士	17
教育学学士	9
教育学士	7
学 士	27
その他	16
合 計	92

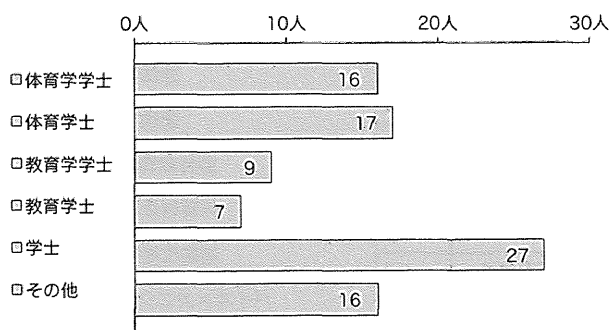


図 9 学位（学士）の種類

表 10 教育での専門分野（複数回答）

分 野	人数
教養体育	261
専門体育	328
その他	67
無回答	30
合計	686

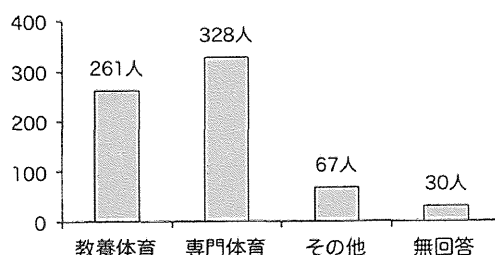


図 10 専門分野：教育（複数回答）

フィールドについての調査は極めて少ない。したがって、この調査結果が、今後の大学・高等専

門学校における体育系教員の発展に少しでも寄与できれば幸いである。

表 11 研究での専門分野（複数回答）

分 野	人数
人文・社会学系	201
自然・医科学系	240
総合・実践科学系	192
無回答	55
計	688

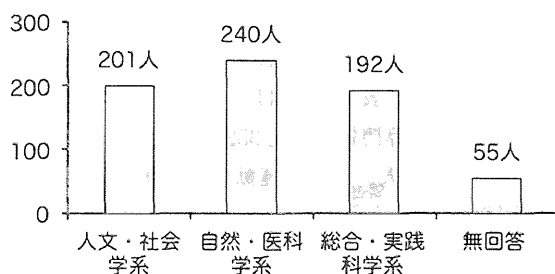


図 11 専門分野：研究（複数回答）

表 12 具体的な研究専門領域（複数回答）

領 域	人数
哲学系	9
歴史系	20
スポーツ社会学	13
マネジメント系	6
スポーツ心理学	26
コーチング学系	42
方法学	16
運動学	19
野外教育系	10
体育科教育	32
運動生理学	36
バイオメカニクス	28
トレーニング系	13
医療・医科学系	14
保健	11
発育発達	5
その他	52

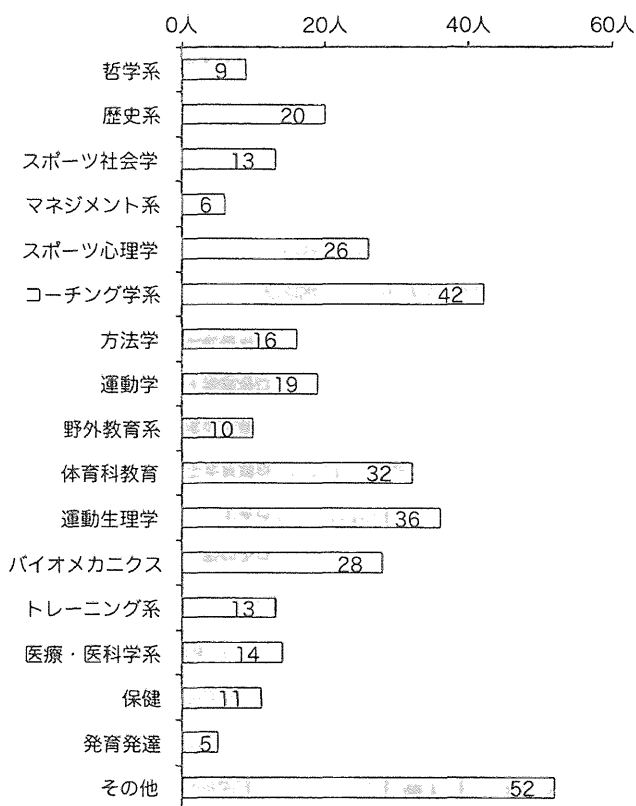


図 12 研究専門領域（複数回答）